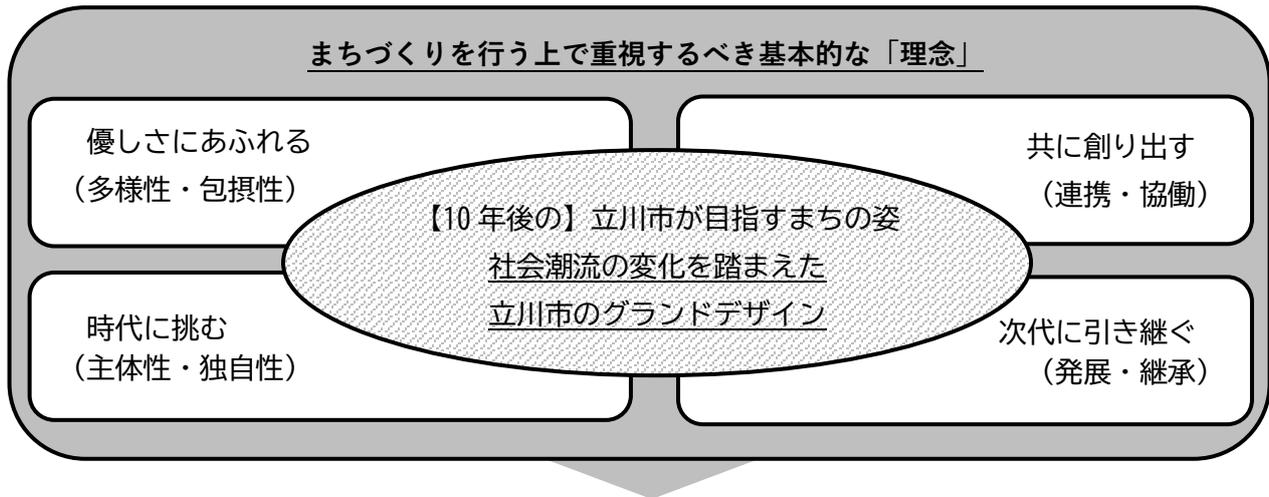
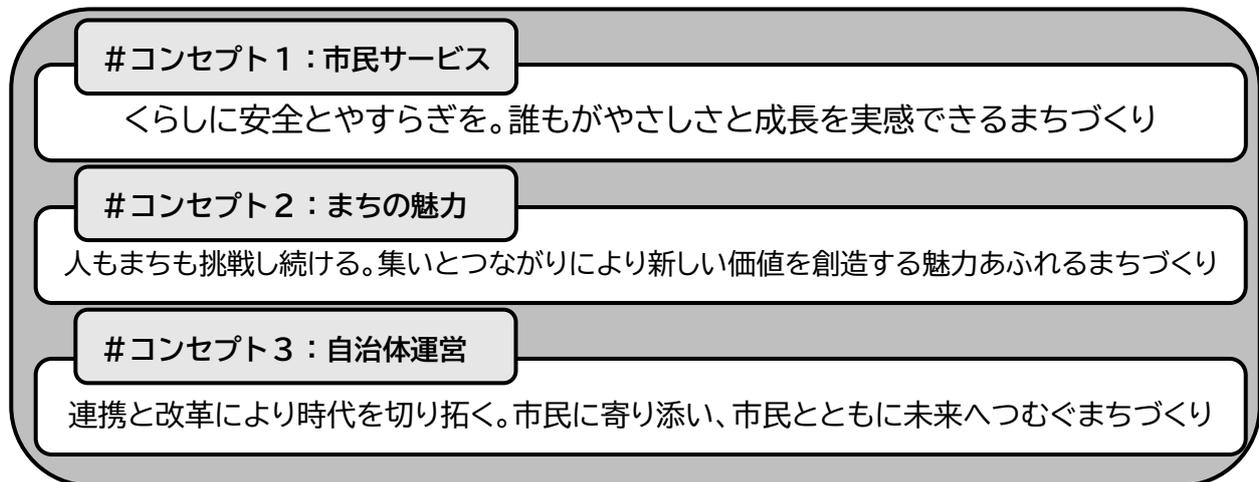


1. 計画体系

【未来ビジョン】



【まちづくりコンセプト】



【政策】



2. 未来ビジョンの基本的な理念

○優しさにあふれる（多様性・包摂性）

多様性を認め合い、誰一人取り残さず、お互いに支え合うことによって、誰もが安心して幸せを実感して暮らすことができるまちにつながります。

<第4回審議会の意見>

- ・弱いものを置き去りにしない
- ・多様性
- ・包摂的成長
- ・みんなで支え合い、だれひとり取り残さないまちづくり
- ・世代間ギャップや多様性、個性、人種、能力の違い、お互いに違うことを認め合いながらコミュニケーションや連携をする

<第5回審議会の意見>

- ・お互い支え合い安心して暮らせる
- ・思いやり、思いやる
- ・誰もが尊重される
- ・誰もが

<市民WSの意見>

- ・年齢・国籍に捉われず多様性を受け入れるまち（A班）
- ・だれもが主役つながるまち立川ワンダーランド（C班）
- ・だれもが歩みよりつながるいごちよいまち立川（D班）
- ・学びや文化を通じてだれもが生きいきと過ごせる町（D班）
- ・認めあい誰もとりのこさない町（D班）
- ・相互理解でつながる町（D班）
- ・誰もが幸せに育ち学べる可能性が無限大なわくわくするまち立川（E班）
- ・多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川（E班）
- ・安心して暮らせる思いやり思いあうおたがいさまの「やっぱり立川」（E班）
- ・なつかしくてあたらしくてやさしいまち立川（F班）

○共に創り出す（連携・協働）

人や企業が主体的に連携し、イノベーションを生み出すことにより立川らしいまちの発展につなげるとともに、地域においてもお互いが結びつくことにより安心して暮らし続けられるやさしい社会につながります。

<第4回審議会の意見>

- ・連携
- ・様々な世代の意見が吸い上げられる仕組み
- ・行政と住民とが柔軟に取り組む
- ・だれもが、ともに、つながる
- ・市民力
- ・コミュニケーション力
- ・様々な地域資源が協働できる市民力
- ・地域の寛容性を広げていく
- ・市民としての責任感を持ち、積極的かつ主体性を持って参画する
- ・田舎と都会の中間、立川らしい新しい価値のコミュニティ
- ・緩やかな、都合のよい絆を認め、自由に、ストレスなく、不安なくつながれる社会
- ・地域愛
- ・みんなで参画できるまち

<第5回審議会の意見>

- ・つながる
- ・共に支え合う
- ・互いに連携した安心できる暮らし
- ・支え合う、つながる

<市民WSの意見>

- ・互いに発信し、交流できるまち（A班）
- ・まちと共に育つ（B班）
- ・地域とつながり育っていく。成長していくまち（B班）
- ・だれもが主役つながるまち立川ワンダーランド（C班）
- ・地域をつなぎ、人が行き交うまち（C班）
- ・共に暮らすまち・共に助け合うまち（C班）
- ・だれもが歩みよりつながるいごちよいまち立川（D班）
- ・相互理解でつながる町（D班）
- ・多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川（E班）
- ・多摩地域連携のハブ都市（F班）
- ・広域連携で生産性が高く効率のよいまち（F班）
- ・支援を必要とする人を地域が支える！！（G班）
- ・地域連携による住みやすいまち（G班）

○時代に挑む（主体性・独自性）

主体的にチャレンジできる土壌と雰囲気を醸成することにより、他とは異なる独自性を生み出し、次代をリードするまちにつながります。

<第4回審議会の意見>

- ・商業圏と農業圏が近接していることを最大限に活用
- ・にぎやかなまちの維持
- ・発信力

<第5回審議会の意見>

- ・可能性に挑戦できる
- ・挑戦、創造。これからの10年間に挑んでいく
- ・独自性を持って時代をリードする
- ・チャレンジできる、新しい価値

<市民WSの意見>

- ・住めば幸せ来ても幸せ “あの立川” (A班)
- ・活気あふれる“あの立川”と言われるまち (A班)
- ・とりあえず立川。(B班)
- ・また遊びに来たくなる街 (B班)
- ・インスタ映えまちがいなし！！活気あふれる街 (B班)
- ・だれもが主役つながるまち立川ワンダーランド (C班)
- ・地域をつなぎ、人が行き交うまち (C班)
- ・知りたい！が届くまち (C班)
- ・やりたい！を応援するまち (C班)
- ・コンビニエントファームシティ (D班)
- ・みらいのたねが育ち豊かでワクワクする可能性に挑戦できる立川 (E班)
- ・挑戦し、未来のたねをまく、イノベーションがおきる「行きたいところに行けるじゃん」 (E班)
- ・多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川 (E班)
- ・誰もが幸せに育ち学べる可能性が無限大なわくわくするまち立川 (E班)
- ・心豊かな住みつけたい魅力ある発展するまち立川 (G班)

○次代に引き継ぐ（発展・継承）

今ある立川市の資源を未来、次の世代へ責任を持って、発展的に継承していくことを意識した行動と選択を継続することにより、持続可能な社会につながります。

<第4回審議会の意見>

- ・成長・発展
- ・子ども目線のまちづくり
- ・若者が魅力を感じるまちづくり
- ・大人になって戻って来たくなるまち
- ・今だけではなく、未来を考える
- ・未来への責任、持続可能性

<第5回審議会の意見>

- ・「持続可能性」はもう少し前向きな表現がよい
- ・未来を考える
- ・安心できる未来へ
- ・次の世代に引き継ぐ
- ・持続可能な社会を構築する
- ・持続可能性は次の世代だけの話ではない
- ・将来、未来

<市民WSの意見>

- ・地域とつながり育っていく。成長していくまち（B班）
- ・多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川（E班）
- ・広域連携で生産性が高く効率のよいまち（F班）
- ・心豊かな住みつけたい魅力ある発展するまち立川（G班）
- ・地産地消で自立するエネルギーを基盤とする街（G班）
- ・財政基盤の持続的発展を目指すまち（G班）

○共通

<第5回審議会の意見>

- ・分かりやすくすることで、意味がぼやけてしまう
- ・曖昧な表現だったとしても、目を引く表現にして、そこから下の政策に読み進めていくと具体的に書いてあるというつくりにするならよいと思う。
- ・括弧の中だけでも十分に伝わるが、インパクトがある表現だとさらによい。
- ・括弧書きの前の言葉は、理解してもらうだけではなく、目を引くような役割も担う。

3. まちづくりコンセプト（都市像）案

第5回審議会の意見を参考に、「案1 政策の性格でまとめる」を採用しました。

(1) まちづくりコンセプト（都市像）案

<まちづくりコンセプト1>【市民サービス】

くらしに安全とやすらぎを。誰もがやさしさと成長を実感できるまちづくり

<まちづくりコンセプト2>【まちの魅力】

人もまちも挑戦し続ける。集いとつながりにより新しい価値を創造する魅力あふれるまちづくり

<まちづくりコンセプト3>【自治体運営】

連携と改革により時代を切り拓く。市民に寄り添い、市民とともに未来へつむぐまちづくり

2. まちづくりコンセプト（都市像）案設定理由

<まちづくりコンセプト1>【市民サービス】

くらしに安全とやすらぎを。誰もがやさしさと成長を実感できるまちづくり

【市民サービスについて】

充実した都市機能と豊かな自然環境が調和する快適な暮らしを次世代に引き継ぐため、都市インフラの計画的な整備、環境と人に優しいまちづくりを進めます。新たな感染症や大規模災害等への十分な対応力を備えるとともに、学校教育や福祉の充実に取り組み、未来に羽ばたく子どもたちを育成します。また、誰もが自分らしく、いきいきと安心して、やすらぎと自らの成長を実感し続けることができるまちを目指します。

【くらしに安全とやすらぎを。】

- ・「市民のくらし」、「都市づくり」、「環境」、「子ども・子育て」、「教育」、「健康・医療」、「社会福祉」などあらゆる政策分野において、すべての市民が「安全とやすらぎ」を実感することができるまちを目指します。
- ・第2回・第3回審議会では、「子どもが安心できる場所」、「災害に強いまち」、「駅周辺の治安」、「高齢社会への不安」、「何でも相談できる」など、「安全・安心」につながる意見が多くあり、第4回審議会では「行政が創り出す価値の基本は『安心・安全』」とする意見もありました。また、高齢化が進展していく中での移動ニーズの変化への対応に関連する意見もありました。
- ・第5回審議会では、「健康という言葉を入れてほしい」、「環境、健康、防災、感染症などのキーワードを検討したい」という意見がありましたので、説明文や政策の取組に盛り込みました。
- ・市民ワークショップでは、「やりたいことが自然と見つかる幸せなまち」（A班）、「笑顔あ

ふれる街」(B班)、「共に暮らすまち・共に助け合うまち」(C班)、「子どもが緑の中で安全安心に遊べる町」(D班)、「安心して暮らせる思いやり思いあうお互いさまの『やっぱり立川』」(E班)、「自然豊かで人も都市もしなやかで強く心が深呼吸できるまち」(E班)、「みんなの顔が見える・助け合う」(F班)、「支援を必要とする人を地域が支える」(G班)、「緑豊かで災害に強いまち」(G班)といった「安全・安心」や「やすらぎ(≒快適さ)」につながる都市像が提案されていました。

- ・高校生ワークショップでは、「安全」に関連して「安心・安全・豊かなまち」、「災害に強い」、「夜1人で歩ける」といった意見がありました。また、「やすらぎ(≒快適さ)」に関連して「住みやすさナンバー1立川」「だれでも落ち着ける街」、「住民の仲がいい」、「キレイな環境」といった意見がありました。
- ・中学生アンケートでは、「安心して暮らせる」、「災害に負けない」、「住みやすく和気あいあい」など、「安全・安心」と「やすらぎ(≒快適さ)」に関する意見が多く寄せられました。
- ・令和5年度実施の「市政に関するアンケート」では、「今後、優先的に取り組むべき政策分野は何だと思いますか」という質問に対して、「子ども」に関する回答が32.6%、「福祉・保健」に関する回答が26.0%、「安全」に関する回答が4.9%ありました。

【やすらぎ(≒都市と自然の調和)】

- ・審議会では、第2回・第3回で「再生可能エネルギーのさらなる推進」や「脱炭素」など自然環境に関する発言がありました。また、第4回では、立川市の特徴として「都市機能と自然環境が共存したまち」に関する意見が多くありました。
- ・第5回審議会では、「カーボンニュートラルを必ず達成するという意気込みが必要」といった意見がありましたので、「環境」を意識した文言を説明文に入れるとともに、「環境」の政策分野の取組方針を作成する際に参考としました。
- ・市民ワークショップでは、「自然と人が共存するまち」(A班)、「自然豊かで人も都市もしなやかで強く心が深呼吸できるまち」(E班)など、都市と自然の共存に関する都市像が提案されました。
- ・高校生ワークショップでは、「私が住みたいまち」として「みどり豊か」、「自然が豊かなまち」といった意見がありました。また、「私が行きたいまち」として「星が見える」、「季節毎に景観を楽しめる」など自然に関する意見がありました。
- ・中学生アンケートでは、「都市と自然の共存」に関するキャッチフレーズが多く出されました。
- ・令和5年度実施の「市政に関するアンケート」では、「今後、優先的に取り組むべき政策分野は何だと思いますか」という質問に対して、「環境」に関する回答が13.7%、「都市基盤」に関する回答が9.5%ありました。

【誰もが】

- ・第2回・第3回審議会では、「外国人」や「LGBTQ+」、「男女平等参画」など「人権」に関する意見がありました。また、第4回審議会では、「立川市の特徴をどのようにいかして

いくか又はどのような価値を新たに創り出していくか」というテーマに対して、若者から高齢者まで、多様な世代が市政に参画することが大切だとする意見もありました。

- ・市民ワークショップでは、将来像として「だれもが主役つながるまち～立川ワンダーランド～」(C班)、「だれもが歩みよりつながるいごちよいまち立川」(D班)、都市像として「学びや文化を通じてだれもが生きいきと過ごせる町」(D班)、「認めあい誰もとりのこさない町」(D班)、「誰もが幸せに育ち学べる可能性が無限大なわくわくするまち立川」(E班)と「誰もが」というフレーズが多く見られました。また、「年齢・国籍に捉われず多様性を受け入れるまち」(A班)、「多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川」(E班)、「格差のない多様な学びと文化を推進するまち」(G班)といった「多様性」に関する都市像もありました。
- ・高校生ワークショップでは、「私が住みたいまち」として「外国人も暮らしやすい」など多様性に関する意見がありました。
- ・中学生アンケートでは、「誰もが誰とでも差別の無いように暮らす 立川市」、「どんな年代の人も暮らしやすい都市 立川」など、多様性を尊重する意見がありました。
- ・次世代職員ワークショップでは、「大人も育つ立川」、「ユニバーサルシティ・タチカワ」、「誰でも誰かにつながるまち」といった、誰一人取り残さないことに関連した都市像が提案されました。

【やさしさ】

- ・第2回・第3回審議会では、「人にやさしく」、「何でも相談できる」、「相互理解」など「やさしさ」に関する意見がありました。第4回審議会では、「高齢者に安心して暮らしてもらおう」、「連携・協働は弱いものを置き去りにしないという考えが根底にある」、「地域の寛容性を広げていくことが大事」、「包摂的成長を目指す」、「みんなで支え合い、だれひとり残されないまちづくり」、「緩やかな、都合のよい絆を認め、自由に、ストレスなく、不安なくつながれる社会が必要だと思う」といった「やさしさ」を意識した意見が多くありました。
- ・市民ワークショップでは、「年齢・国籍に捉われず多様性を受け入れるまち」(A班)、「笑顔あふれる街」(B班)、「共に暮らすまち・共に助け合うまち」(C班)、「認めあい誰もとりのこさない町」(D班)、「安心して暮らせる思いやり思いあうおたがいさまの『やっぱり立川』」(E班)、「みんなの顔が見える・助け合う」(F班)、「支援を必要とする人を地域が支える！！」(G班)といった優しさを感じる都市像が提案されました。将来像でも、「だれもが歩みよりつながるいごちよいまち立川」(D班)、「なつかしくてあたらしくてやさしいまち立川」(F班)など優しさを表現したものが提案されました。
- ・高校生ワークショップでも、「外国人も暮らしやすい」、「高齢者にやさしい」など、優しさに関する提案がありました。
- ・中学生アンケートでも、「誰もが誰とでも差別の無いように暮らす 立川市」、「どんな年代の人も暮らしやすい都市 立川」、「年齢層関係なく助け合いの輪が広がる町」、「みんなが支え合い、過ごしやすい立川市」など、優しさを感じるキャッチフレーズが多く提案されました。

【成長（子ども・子育て）】

- ・第4回審議会では、「今後の市の担い手となる子どもの育成が大切」、「子ども目線でのまちづくり」など、子どもを主眼としたまちづくりが大切だという意見がありました。また、人口減少や高齢化対策として、「子育て施策にはより力を入れつつ、立川を選んでもらい、市民に住み続けてもらうという施策に取り組む必要がある」とする意見もありました。一方で、第3回審議会では子どもだけではなく、「子育ての悩みの相談」など、子育てをする大人への支援に関する意見もありました。
- ・第5回審議会では、「子どもがキーワードになる」、「子育て施策に取り組んでいくといったところがポイント」、「子どもというフレーズがよい」という意見がありましたので、子どもを重視していることが分かるように説明文を修正しました。
- ・市民ワークショップでは、「まちと共に育つ」(B班)、「子どもが緑の中で安全安心に遊べる町」(D班)など、子どもに関する都市像が多く提案され、どの班も子どもを重要な政策として捉えていました。また、「共に暮らすまち・共に助け合うまち」(C班)、「誰もが幸せに育ち学べる可能性が無限大なわくわくするまち立川」(E班)、「子どもが第一のまち！！(オトナも大事!）」(F班)といった、子どもだけではなく、子育てをする大人も大事とする提案もありました。
- ・高校生ワークショップでは、「私が住みたいまち」として、「子育てがしやすい」という意見がありました。
- ・中学生アンケートでは、「大人も子供も笑顔がいっぱいの街 立川」、「家族が住みやすい都市 立川市」、「たのしく、子供がいききと暮らせる都市 立川」など、子どもと大人がともに暮らしやすいまちに関する提案がありました。
- ・令和5年度実施の「市政に関するアンケート」では、「今後、優先的に取り組むべき政策分野は何だと思いますか」という質問に対して、「子ども」に関する回答が32.6%ありました。

【成長（教育・生涯学習）】

- ・第3回審議会では、「安心して勉強できる場所」や「不登校支援」など、子どもの教育に関する意見がありました。一方で、大人の学びについては、「大人が学ぶ環境が充実しているが、学んだことを地域に生かしていくという連動性が弱い」、「大人に対しても立川市民科を推進し、地域に愛着を持って、地域を支えるという市民性を高める必要がある」といった、地域の担い手を育成するための学びが必要という意見がありました。
- ・市民ワークショップでは、「やりたいことが自然と見つかる幸せなまち」(A班)、「学びや文化を通じてだれもが生きいきと過ごせる町」(D班)、「誰もが幸せに育ち学べる可能性が無限大なわくわくするまち立川」(E班)、「格差のない多様な学びと文化を推進するまち！！」(G班)といった、年齢に関係なく学び続けることができることに関する都市像が提案されました。
- ・高校生ワークショップでは、「私が住みたいまち」として、「充実した図書館」という意見がありました。

- 中学生アンケートでは、「優しく教え合うことと、にぎわいのある立川」、「優秀な人材が育つ環境のある都市 立川」など、教育環境の充実に関する意見がありました。
- 次世代職員ワークショップでは、大人も成長できることを伝えるため「大人も育つ立川」という都市像が提案されました。

<まちづくりコンセプト2>【まちの魅力】

人もまちも挑戦し続ける。集いとつながりにより新しい価値を創造する魅力あふれるまちづくり

【まちの魅力について】

立川のまちは魅力にあふれ、交通結節点という立地条件も相まって多くの人や企業が立川に集まっています。立川に住む人だけでなく、立川を訪れる誰もが人や企業に出会い、つながり、様々なことに挑戦することで新たな価値を生み出します。また、恵まれた立地条件を十分に生かして多摩地域発展の一翼を積極的に担い、発展し続けるまちを目指します。

【挑戦】【新しい価値を創造する】

- ・審議会では、『『起業』が立川のキーワードになる』といった意見をはじめとして「創業」が今後の立川の強みとなるという意見がありました。また、「都心に依存しない雇用をここに産むという意味は大きい」、「人口のピークを後ろにずらしつつ市を維持するためにも、雇用を産む、創業を産むというのは必要。」という意見がありました。農業については、「産業と自然を共存させて、立川らしいイノベーションを起こしていく。」という意見もありました。さらに、「多様な世代、若者がにぎわっていて、それを行政が支えていくこと、協働や連携の話になるが、新たな価値になる。」といった「人」に注目した意見もありました。
- ・第5回審議会では、「立川が持っている差別性、ダイナミズム、動的な力が必要」という意見がありました。
- ・市民ワークショップでは、「やりたいことが自然と見つかる幸せなまち」(A班)、「やりたい！を応援するまち」(C班)、「挑戦し、未来のたねをまく、イノベーションがおきる『行きたいところに行けるじゃん』」(E班)といった都市像や「みらいのたねが育ち豊かでワクワクする可能性に挑戦できる立川」(E班)といった将来像など、「挑戦」や「新しい価値の創造」に関する提案が多くありました。
- ・令和5年度実施の「市政に関するアンケート」では、「今後、優先的に取り組むべき政策分野は何だと思いますか」という質問に対して、「産業」に関する回答が6.0%ありました。

【集い】

- ・第4回審議会では、立川の魅力や「交通結節点」といった立地条件により、多くの人が集まることが立川の特徴であるとする意見が多くありました。
- ・市民ワークショップでは、「活気あふれる“あの立川”と言われるまち」(A班)、「インスタ映えまちがいなし！！活気あふれる街」(B班)、「多摩地域のハブ都市」(F班)のように、人が集まりにぎわうまちをイメージした都市像が提案されました。
- ・高校生ワークショップでは、「私が行きたいまち」として「にぎやか立川」や「歩いていだけで楽しいまち」、「ネットに負けない街」など、人が集まりにぎわうまちのキャッチフレーズが提案されました。
- ・中学生アンケートでは、「にぎやかで豊かな生活ができる立川」、「人との交流たくさん

立川市」など、にぎわいや交流に関する意見が寄せられました。

- ・次世代職員ワークショップでは、「様々な人、企業が住みやすく、暮らしやすく、働きやすい立川を目指す」として、都市像「ユニバーサルシティ・タチカワ」が提案されました。

【つながり】

- ・審議会では、「地域のコミュニティ」についての意見が多くありました。住民以外の多くの人が集まる立川の特徴に着目し、立川在勤・在学者などの立川を訪れる人も市民として受け入れ、新たな地域の担い手となってもらう発想で臨むべきという提案もありました。一方で、「選択的・機能的・ネットワークコミュニティを打ち出していく」、「緩やかなつながりや都合のよい絆を認め、自由に、ストレスなく、不安なくつながれる社会が必要」といった、無理なくゆるやかにつながることができる新しい形のコミュニティに関する議論がありました。
- ・市民ワークショップでは、「地域とつながり育っていく。成長していくまち」(B班)、「地域をつなぎ、人が行き交うまち」(C班)、「相互理解でつながる町」(D班)、「多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川」(E班)といった都市像や「だれもが主役つながるまち～立川ワンダーランド～」(C班)、「だれもが歩みよりつながるいごちよいまち立川」といった将来像など、「つながる」というキーワードが非常に多く見られました。
- ・高校生ワークショップでは、「私が住みたいまち」として「住民の仲がいい」、「地域住民対象のイベントがある」など、地域のつながりに関する提案がありました。
- ・中学生アンケートでは、「住みやすく和気あいあいしている立川市」など、地域のつながりに関する意見がありました。
- ・次世代職員ワークショップでは、「誰でも誰かとつながれるまち」という市と市民・事業者との協働に関する都市像が提案されました。

【魅力あふれる】

- ・第4回審議会では、「都市機能と自然環境の共存」が立川市の魅力だとする意見が多くあり、その資源をさらに伸ばしていくべきであり、シティプロモーションなどでその魅力をしっかりアピールしていくことが必要であるという意見がありました。
- ・市民ワークショップでは、「心豊かな住みつけたい魅力ある発展するまち立川」(G班)など、立川の魅力に関する将来像が提案されました。
- ・高校生ワークショップでは、「私が行きたいまち」として「歩いているだけで楽しいまち」や「ネットに負けない街」など、魅力的なまちに関する提案がありました。
- ・中学生アンケートでは、立川のキャッチフレーズとして、「誰もが住みやすい、魅力あふれる立川」、「日本で一番魅力的な都市 立川」、「魅力あふれる立川市」など、立川が魅力的であることを表現した提案がありました。

【多摩地域発展の一翼を積極的に担い、発展し続けるまち】※説明文

- ・立川は「交通結節点」として恵まれた立地条件を生かして、発展してきました。人口減少

が本格的に進展するこれからの時代は、周辺市など多摩地域の自治体との広域連携の重要性が高まります。多摩地域の中心のまちとして、多摩地域全体の発展を念頭に置いて政策を推進することが必要です。

- 第4回審議会では「立川という立地を生かし、官民連携・広域連携をし、立川の産業のシンボルとして創業を位置づけ、産業を盛り上げる。」といった広域連携に関する意見がありました。また、紹介された立川商工会議所の将来ビジョンは「立川広域都市圏の経済を将来にわたり持続的に発展させる」としています。
- 市民ワークショップでは、「多摩地域連携のハブ都市」(F班)、「広域連携で生産性が高く効率のよいまち」(F班)という広域連携に関する都市像が提案されました。

＜まちづくりコンセプト3＞【自治体運営】

連携と改革により時代を切り拓く。市民に寄り添い、市民とともに未来へつむぐまちづくり

【自治体運営について】

持続可能な自治体運営の実現のため、今後10年間のみならず、さらにその先を見据えた自治体運営が重要です。社会潮流の変化に対応した政策を機動的に実行するため、自治体連携・官民連携、市民参加を積極的に進めるほか、行財政改革を行いながら市民と共にまちづくりを進め、次世代に発展的に継承します。

【連携（自治体連携・官民連携）と改革】

- ・第4回審議会では、「市民、行政、企業が協働していく必要がある」といった官民連携に関する意見や、「立川という立地を生かし、官民連携・広域連携をし、立川の産業のシンボルとして創業を位置づけ、産業を盛り上げる。」といった広域連携に関する意見がありました。また、紹介された立川商工会議所の将来ビジョンは「立川広域都市圏の経済を将来にわたり持続的に発展させる」としています。
- ・市民ワークショップでは、「多摩地域連携のハブ都市」（F班）、「広域連携で生産性が高く効率のよいまち」（F班）という広域連携に関する都市像が提案されました。

【時代を切り拓く】

- ・第4回審議会では、第5次長期総合計画の計画期間となる次の10年は、人口減少や少子化、高齢化の本格的な進展などにより、厳しい行政運営となることが共通認識としてありました。立川市がこれまで経験したことのない、困難な時代に挑む意気込みを「新たな時代を切り拓く」という力強いメッセージに込めました。

【市民に寄り添い】【市民とともに】

- ・第4回審議会では、「市民との協働でサービスを充実させていくべき」、「市民、行政、企業が協働していく必要がある」、「市民力の活躍、市民主役のまちづくり」、「立川市は若者から高齢者までみんなが活躍している」、「市民力の元にあるコミュニケーションが重要」、「様々な地域資源が協働できる市民力」など、市民と行政の協働によるまちづくりの重要性に関する意見が多くありました。また、「市民」の定義について、在住市民だけではなく、在勤市民や在学市民、企業市民（立川市はここが強い）も取り入れる発想で臨むべきとする意見がありました。
- ・第5回審議会では「寄り添いという表現は、弱者に寄り添うというニュアンスで使われるので、市民が主体でなくなってしまう」という意見がありましたので、「市民とともに」というフレーズを追加しました。
- ・市民ワークショップでは、「知りたい！が届くまち」（C班）として「市民と行政が一緒になって情報を届ける仕組み」や「多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川」（E班）として「市民活動の活性化で立川の底力を感じさせる！」といった市民と行政の協働に関する意見がありました。

- ・次世代職員ワークショップでは、「市民が創るまぶしいまち」、「みんなでつくるまち“立川”」といった市と市民・事業者との協働に関連した都市像が提案されました。

【未来へつむぐ】

- ・第4回審議会では、困難な時代を乗り越えるための方策として、人口減少に対しては、「立川在勤・在学者や健康なアクティブシニアに活躍してもらおう」という新たな地域の担い手についての意見や「立川市が魅力的な自治体となり、社会増を増やす」といった立川市の現在の特徴である昼夜間人口比率の高さや社会増の多さに着目した意見が出されました。財政運営に対しては、支出の削減に関して「公共施設の機能の集約」、「必要なサービスの精査」、「自治体DXの推進」についての意見がありました。一方で、税収を増やす意見として「立川を魅力あるまちにする」、「まちの稼ぐ力つくる」、「高齢者の社会参加を促進する」といった積極的な意見もありました。また、まちづくりを行っていくうえで重視すべき理念として、「若者・子どもの視点」、「包摂的成長」、「市民としての責任感」、「コミュニケーション」といった理念があげられましたが、それらに共通するものとして『『未来への責任』、『持続可能』など、自分たちの世代だけではなく、次の世代を考えている』とする意見がありました。
- ・市民ワークショップでは、「多様性が尊重され、つながりつながる持続可能な楽しい立川」(E班)、「財政基盤の持続的発展を目指すまち」(G班)といった持続可能性(≒未来)に関する都市像が提案されました。
- ・中学生アンケートでは、「100年先でも安心して暮らせる立川市」という持続可能性(≒未来)に関する提案がありました。また、「学費を免除する未来投資キャンペーン」、「さあゆこう未来の扉を開けて最高のまちづくりへ」、「未来のために取り組み続ける立川」など、「未来」というキーワードが多く見られました。

4. 政策取組方針への意見反映状況

※②～④は発言があった審議会の開催回

【市民のくらし】

<政策目的>

さまざまな課題を抱える市民に寄り添い、公正・公平を遵守し、豊かな生活をサポートします

<取組方針>

さまざまな手続きや困りごとを抱える市民に寄り添い、公正・公平を遵守し、くらしをサポートしつつ、市民のライフスタイルの変化にあわせより利便性が高い窓口を目指します。また、多様な主体（○多文化共生意識の向上 ○多様な性への対応②外国人の子どもの支援 ③人権 ○国籍に捉われず多様性を受け入れる ③LGBTQ+など、多様な性への理解の高まり ③人権の分野で遅れている ○多様性の尊重 ○外国人も暮らしやすい）が地域で活躍（○地域の担い手不足 ○市民が創る）し、交流を深める（○相互理解 ○住民の仲がいい）ことにより、住み良い（○笑顔あふれる ○住みやすく和気あいあい）地域コミュニティ（②地域のつながり ②コミュニティの向上 ②自治会の加入率低下 ②コミュニティ ③持続可能な地域活動 ○つながりつながる ○地域連携 ④ゆるやかなつながり ④親交的コミュニティ）を形成していきます。

○地域の担い手不足 ○多文化共生意識の向上 ○多様な性への対応 ②地域のつながり ②コミュニティの向上 ②自治会の加入率低下 ②コミュニティ ②外国人の子どもの支援 ③持続可能な地域活動 ③人権 ○国籍に捉われず多様性を受け入れる ③LGBTQ+など、多様な性への理解の高まり ③人権の分野で遅れている ○笑顔あふれる ○相互理解 ○多様性の尊重 ○つながりつながる ○地域連携 ○市民が創る ○住民の仲がいい ○外国人も暮らしやすい ○住みやすく和気あいあい ④ゆるやかなつながり ④親交的コミュニティ
--

【危機管理】

<政策目的>

あらゆる危機に備え、ひとびとの安全なくらしを守ります

<取組方針>

市民の安全なくらしを守るため、市民・地域、事業所、行政が連携して災害に備え（○大規模災害の備え ②感染症に対する医療体制 ②緊急医療養護所 ③ポストコロナの医療体制 ③新興感染症対策 ③サージキャパシティの確立）防災・減災対策（○レジリエンス強化 ③災害に強いまち ③災害の啓発 ○しなやかで強く ○災害に強い ○災害に負けない）を進めます。また、誰もが地域で安心して生活ができる（○安心して暮らせる）よう地域の防犯を強化（○安全安心に遊べる ○夜1人で歩ける）するとともに立川駅周辺の体感治安の向上（○体感治安の向上 ②駅周辺の治安 ○人が来るけど安全）を進めます。

○大規模災害の備え	○レジリエンス強化	○体感治安の向上	②駅周辺の治安	②感染症に対する医療体制	②緊急医療養護所	③災害に強いまち	③災害の啓発	③ポストコロナの医療体制	③新興感染症対策	③サージキャパシティの確立	○安全安心に遊べる	○しなやかで強く	○災害に強い	○夜1人で歩ける	○人が来るけど安全	○安心して暮らせる	○災害に負けない
-----------	-----------	----------	---------	--------------	----------	----------	--------	--------------	----------	---------------	-----------	----------	--------	----------	-----------	-----------	----------

【都市づくり】

<政策目的>

くらしやすい持続可能な都市を形成します

<取組方針>

都市機能と自然環境が調和する（○自然と人が共存する ○自然豊か ○心が深呼吸できる ○緑豊か ○星が見える ○自然と共存 ○緑あふれるクリーン ④森林保全）立川の特徴を生かした魅力的でうるおいのあるまち（○誰でも快適 ②球技や花火ができる公園 ②ボール遊びや手持ち花火ができる公園 ○緑の中で安全安心に遊べる ○公園が繋がる ○水がきれいで、おいしい ○駅のまわりだけでなく立川市全体を住みやすく）づくりを推進します。また、人の活動を支える都市基盤の整備（○都市計画道路 ○道が広い）を進めるとともに、これまで整備した都市基盤は時代の要請に合わせ機能改善（②歩道が狭い ○ユニバーサル ④街路灯を増やしてほしい）を図りつつ、将来の都市活動を見据え適切な管理（④補修や更新にAI画像解析やセンサーを活用 ④街路樹の再生・更新）に努めます。

○都市計画道路 ②歩道が狭い ○ユニバーサル ○道が広い ○誰でも快適 ②球技や花火ができる公園 ②ボール遊びや手持ち花火ができる公園 ○自然と人が共存する ○緑の中で安全安心に遊べる ○自然豊か ○心が深呼吸できる ○公園が繋がる ○緑豊か ○水がきれいで、おいしい ○星が見える ○自然と共存 ○緑あふれるクリーン ○駅のまわりだけでなく立川市全体を住みやすく ④森林保全 ④補修や更新にAI画像解析やセンサーを活用 ④街路樹の再生・更新 ④街路灯を増やしてほしい
--

【環境】

<政策目的>

生活環境を整え、循環型のまちをつくります

<取組方針>

人々が安全・安心に暮らし続けられ、将来世代に引き継げる（②持続可能の視点 ②SDGsの観点 ○持続可能）よう環境政策（④GX ④環境教育）を進めます。また、一層のごみ減量とリサイクル等を推進し、廃棄物処理関連施設を安定的かつ効率的に運営（○エネルギーを基盤とする街）するとともに、下水道施設の適正管理（○下水道施設更新）やストックマネジメントの推進に取り組むなど、環境負荷の低減につながる脱炭素（○カーボンニュートラル ②自然エネルギー ②脱炭素 ③再生可能エネルギーのさらなる推進）や資源循環を推進します。

○カーボンニュートラル	○下水道施設更新	②持続可能の視点	②SDGsの観点	②自然エネルギー	②脱炭素	③再生可能エネルギーのさらなる推進	○エネルギーを基盤とする街	○持続可能	④GX	④環境教育
-------------	----------	----------	----------	----------	------	-------------------	---------------	-------	-----	-------

【子ども・子育て】

<政策目的>

安心して子育てができ、子どもがのびのびと成長できる環境を整えます

<取組方針>

子どもの権利を尊重し、社会参加や意見反映の機会充実に取り組みます。子どもたちが希望を持って健やかに育っていける（○誰もが幸せに育ち ○たのしく、いきいきと暮らせる）よう、すべての子どもが安全で安心して過ごせる居場所づくり（③楽しく安全に遊べる場所 ○安全安心に遊べる）を進めるなど、子どもの目線に立った政策（○子どもが第一（オトナも大事））を推進します。また、妊娠期から出産、子育てを途切れなく支援（○妊娠期から出産・子育てまで）し、まち全体で（○まちと共に育つ ○共に暮らす・共に助け合う）、安心して子育てができる環境（○負担や不安を和らげる ○学童保育所の待機児解消○保育施設の適正配置 ○子育て・健康複合施設 ③仕事と子育ての両立 ②育成とコミュニティの結びつけ ○大人も育つ ○子育てがしやすい ○大人も子供も笑顔がいっぱい ○家族が住みやすい）を整えます。

○妊娠期から出産・子育てまで	○負担や不安を和らげる	○学童保育所の待機児解消
○保育施設の適正配置	○子育て・健康複合施設	③仕事と子育ての両立
②育成とコミュニティの結びつけ	③楽しく安全に遊べる場所	○まちと共に育つ
○共に暮らす・共に助け合う	○安全安心に遊べる	○誰もが幸せに育ち
○子どもが第一（オトナも大事）	○大人も育つ	○子育てがしやすい
○大人も子供も笑顔がいっぱい	○家族が住みやすい	○たのしく、いきいきと暮らせる

【教育】

<政策目的>

子どもたちの生きる力を育む学校教育を推進します

<取組方針>

子どもたちの生きる力（○子供の未来）の基盤として、基礎的・基本的な学力（○優秀な人材が育つ環境）と健やかな体（④食育）を育むとともに、豊かな心を持ち、社会に貢献する意欲と態度を培う学校教育を推進します。また、一人ひとりの個性や能力にあった個別最適な学び（○ICT 機器等の効果的な活用 ③不登校支援に対する配慮 ○やりたいことが自然と見つかる ○誰もが幸せに育ち学べる ○格差のない多様な学び）と協働的な学び（○教え合う）の実現を図るとともに、地域とともに歩む（③学校・家庭・地域の連携による教育力の向上 ②ボランティアによる学習支援 ③安心して勉強ができる場所 ○共に育つ ○居場所）学校づくりを進めます。

○ICT 機器等の効果的な活用 ③不登校支援に対する配慮 ③学校・家庭・地域の連携による教育力の向上 ②ボランティアによる学習支援 ③安心して勉強ができる場所 ○やりたいことが自然と見つかる ○共に育つ ○誰もが幸せに育ち学べる ○格差のない多様な学び ○居場所 ○子供の未来 ○教え合う ○優秀な人材が育つ環境 ④食育

【保健・医療】分野

<政策目的>

市民の健康を維持・増進し、くらしやすい生活をサポートします

<取組方針>

市民の主体的な健康づくりを通じて健康増進や介護予防につなげていくため、保健事業の周知啓発や場の提供、各種検診・健康診査の受診機会の充実（②特定検診や歯の検診 ④訪問歯科診療 ④オーラルフレイル）等に取り組みます。また、社会基盤となる介護人材の確保・育成（○介護人材の確保・育成）など、介護サービスの整備（○介護サービス基盤の整備）を進めるとともに、医療費適正化等により社会保険制度の安定運営（④後期高齢者医療制度 ④介護保険）を推進します。

○介護人材の確保・育成	○介護サービス基盤の整備	②特定検診や歯の検診	④後期 高齢者医療制度
④介護保険	④在宅医療	④訪問診療	④訪問歯科診療
④オーラル フレイル	④アドバンス・ケア・プランニング（ACP）		

【社会福祉】

<政策目的>

多様な担い手がつながり支え合い、自分らしく安心してくらす地域づくりを進めます

<取組方針>

市民や関係団体・事業者等との協働を進めるため地域活動の担い手などを支援するとともに、市民が主体的に地域生活課題の解決（○重層的支援 ③何でも相談できる）に参画・協働する仕組みづくり（○支え合いの地域づくり ③相互理解 ②人にやさしく ○年齢に捉われず多様性を受け入れる ○地域とつながり ○共に暮らす・共に助け合う ○おたがいさま ○助け合う ○地域が支える ○誰でも誰かとつながれる ○助け合いの輪 ○みんなが支え合い）を推進します。また、支援が必要な市民を障害福祉サービスや生活保障などの各種福祉施策に適切に繋げる（○介護予防 ○フレイル予防 ○認知症対策 ○生活困窮者等への自立支援 ③単身世帯の外国人 ③単身世帯の高齢者）ことにより、安心してくらす（②高齢社会への不安 ②高齢者の活躍の場 ○誰もとりのこさない ○どんな年代の人も ④ゆるやかな見守り ④地域包括ケアシステム ④在宅緩和ケア ④看取り ④超高齢多死社会）地域共生社会を形成します。

○重層的支援 ○支え合いの地域づくり ○介護予防 ○フレイル予防 ○認知症対策 ○生活困窮者等への自立支援 ②人にやさしく ②高齢社会への不安 ③何でも相談できる ③相互理解 ③単身世帯の外国人 ②高齢者の活躍の場 ③単身世帯の高齢者 ○年齢に捉われず多様性を受け入れる ○地域とつながり ○共に暮らす・共に助け合う ○誰もとりのこさない ○おたがいさま ○助け合う ○地域が支える ○誰でも 誰かとつながれる ○どんな年代の人も ○助け合いの輪 ○みんなが支え合い ④ゆる やかな見守り ④地域包括ケアシステム ④在宅緩和ケア ④看取り ④超高齢多死 社会
--

【産業まちづくり】

<政策目的>

人や企業が集う強みを生かし、まちの魅力を高めます

<取組方針>

人や企業が集う(③創業するなら立川 ③都心に依存しない雇用 ③雇用を産む、創業を産む ③交流人口 ○食べたいものが食べられる ○インスタ映え ○また遊びに来たくなる ○やりたい!を応援する ○人が行き交うまち ○挑戦 ○働きやすい ○交流 ○ユニバーサル ④エコミュージアム) 都市特性(②北側の農業地域、中間の商業地位、多摩川沿いの地域 ③河川のあるアクティブな暮らし ②都市機能から連なる自然 ②交通結節点 ○多摩地域連携のハブ都市)を生かし、立川のさらなる活力(○活気あふれる ○イノベーション ○にぎやか)につながる商工業(○事業継承 ③創業するなら立川 ②シリコンバレー ②AIの集積 ○商店街のにぎわい)や都市農業(○農地の有効活用 ○コンビニエントファーム ○地産地消で自立する)の振興策を推進しつつ、地域公共交通など多様な移動手段を構築(②高齢化により変化する移動ニーズ ②南北の交通渋滞 ②自動運転 ③市内の交通のあり方 ○便利に移動 ○交通の利便性が高い ④自転車)し、地域の特性を生かしたまちづくり(○有機的なネットワーク)、出かけたくなるまちづくり(○外出困難等の移動)を推進します。

○事業継承 ○農地の有効活用 ○有機的なネットワーク ○外出困難等の移動 ②北側の農業地域、中間の商業地位、多摩川沿いの地域 ③創業するなら立川 ③都心に依存しない雇用 ③雇用を産む、創業を産む ②シリコンバレー ②AIの集積 ③河川のあるアクティブな暮らし ③交流人口 ②都市機能から連なる自然 ②交通結節点 ②高齢化により変化する移動ニーズ ②南北の交通渋滞 ②自動運転 ③市内の交通のあり方 ○食べたいものが食べられる ○活気あふれる ○インスタ映え ○また遊びに来たくなる ○やりたい!を応援する ○人が行き交うまち ○コンビニエントファーム ○挑戦 ○イノベーション ○地産地消で自立する ○商店街のにぎわい ○働きやすい ○にぎやか ○交流 ○便利に移動 ○多摩地域連携のハブ都市 ○ユニバーサル ○交通の利便性が高い ④エコミュージアム ④自転車
--

【文化・スポーツ】

<政策目的>

文化や学び、スポーツの機会を充実させ、まちの魅力を高めます

<取組方針>

市民の文化芸術や生涯学習、地域に根ざした活動（③地域を支える市民性を高める）への積極的な参加・交流による幅広い学び（○格差のない多様な学び ○やりたいことが自然と見つかる ○共に育つ ○だれもが生きいきと ○誰もが幸せに育ち学べる ○格差のない多様な学び）を支援するとともに運動習慣（医療・介護とスポーツの連携）を促進します。地域の伝統的文化（○多様な文化 ○文化と暮らしの融合）については、本市の魅力として後世に引き継いで（○伝統を守る）いきます。また、官民連携で文化芸術の活性化（○町全体が美術館）やプロスポーツとの連携（○スポーツ観戦 ④スポーツに親しめる場づくり）を進め、まちのにぎわいにつなげます。

○医療・介護とスポーツの連携 ③地域を支える市民性を高める ○格差のない多様な学び ○多様な文化 ○スポーツ観戦 ○町全体が美術館 ○伝統を守る ○文化と暮らしの融合 ○やりたいことが自然と見つかる ○共に育つ ○だれもが生きいきと ○誰もが幸せに育ち学べる ○格差のない多様な学び ④スポーツに親しめる場づくり
--

【総合戦略】

＜政策目的＞

計画的かつ社会潮流に応じた政策を戦略的に進めます

＜取組方針＞

社会潮流の変化に対応した政策を機動的に展開しつつ、将来にわたって健全で持続可能な行財政運営を効果的（○デジタル化 ○効率的・効果的な自治体運営 ○公共施設の再編 ○デジタルデバインド対策 ○将来負担増、市税の減少 ②デジタルの観点 ③地域に人が訪れ、財政基盤が豊かになる ○持続可能 ○生産性が高く効率のよい ○最新技術 ○SDGs ○100年先でも安心して暮らせる ○財政基盤の持続的発展）に進めます。また、国や自治体との広域的な連携（○広域連携）、さらには市民・事業者との協働、連携（○民間活力 ②双方向のコミュニケーション ②データが円滑に流通できる仕組み ○みんなで作る）、立川の魅力の積極的な発信（②立川の情報伝わりにくい ○あの立川 ○インスタ映え ○知りたい！が届く）により、にぎわいと住み良さを兼ね備えた選ばれるまちづくりを進めます。

○民間活力 ○広域連携 ○デジタル化 ○効率的・効果的な自治体運営 ○公共施設の再編 ○デジタルデバインド対策 ○将来負担増、市税の減少 ②デジタルの観点 ②双方向のコミュニケーション ②データが円滑に流通できる仕組み ②立川の情報伝わりにくい ③地域に人が訪れ、財政基盤が豊かになる ○あの立川 ○インスタ映え ○知りたい！が届く ○持続可能 ○生産性が高く効率のよい ○みんなで作る ○最新技術 ○SDGs ○100年先でも安心して暮らせる ○財政基盤の持続的発展
--

【行政運営】

<政策目的>

効率的・効果的に行政を運営するしくみを整えます

<取組方針>

市民に信頼される職員の育成やコンプライアンス（④コンプライアンス）などの適正な事務の執行、さらには公共調達に適正化や公共サービスの品質の確保に取り組み、効率的・効果的な行政運営（○生産性が高く効率のよい）を進めます。また、公共施設（○公共施設）を将来世代へ引き継ぐ持続可能（○持続可能 ○100年先でも安心して暮らせる）な取組と適切な維持保全（④施設更新にAI画像解析やセンサーを活用）を進めます。

○持続可能	○生産性が高く効率のよい	○公共施設	○100年先でも安心して暮らせる
る	④施設更新にAI画像解析やセンサーを活用	④コンプライアンス	④投票率の向上